

## 月影保育園拠点区分 事業活動計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

第二号第四様式

(第二十三条第四項関係)

法人名：社会福祉法人 月影福祉会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動収益の部	保育事業収益	91,564,700	92,441,910	△ 877,210
	委託費収益	77,507,310	80,529,940	△ 3,022,630
	基本分単価	50,593,750	51,601,920	△ 1,008,170
	処遇改善等加算	8,570,710	8,212,320	358,390
	所長設置加算	5,596,910	5,747,850	△ 150,940
	所長設置処遇改善等加算	1,059,440	910,980	148,460
	3歳児配置改善加算	593,770	1,305,990	△ 712,220
	3歳児配置改善処遇改善等加算	96,900	204,120	△ 107,220
	主任保育士専任加算	3,669,240	3,623,900	45,340
	療育支援加算	469,960		469,960
	事務職員雇上加算	653,130	649,650	3,480
	冷暖房費加算	76,670	79,530	△ 2,860
	チーム保育推進加算	2,942,210	4,988,700	△ 2,046,490
	チーム保育推進処遇改善等加算	479,940	780,840	△ 300,900
	月途中退所分		△ 60,050	60,050
	処遇改善等加算II	2,488,680	2,484,190	4,490
	副食費徴収免除加算	216,000		216,000
	利用者等利用料収益	778,500		778,500
	利用者等利用料収益（一般）	778,500		778,500
	私的契約利用料収益	222,550	198,750	23,800
	その他の事業収益	13,056,340	11,713,220	1,343,120
	補助金事業収益（公費）	12,987,340	11,505,220	1,482,120
	補助金事業収益（一般）	69,000	208,000	△ 139,000
	その他の収益	377,372	381,614	△ 4,242
	その他の収益	377,372	381,614	△ 4,242
サービス活動収益計(1)		91,942,072	92,823,524	△ 881,452

## 月影保育園拠点区分 事業活動計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

第二号第四様式

(第二十三条第四項関係)

法人名：社会福祉法人 月影福祉会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動費用 増減の部	人件費	79,889,472	84,036,194	△ 4,146,722
	職員給料	45,622,030	46,490,884	△ 868,854
	職員俸給	28,675,200	28,467,600	207,600
	職員諸手当	16,946,830	18,023,284	△ 1,076,454
	職員賞与	7,403,938	7,322,234	81,704
	賞与引当金繰入	4,200,000	4,574,600	△ 374,600
	非常勤職員給与	12,315,625	14,904,134	△ 2,588,509
	退職給付費用	807,736	816,200	△ 8,464
	退職給付費用	807,736	816,200	△ 8,464
	法定福利費	9,540,143	9,928,142	△ 387,999
	事業費	8,293,036	8,609,940	△ 316,904
	給食費	3,427,471	3,337,546	89,925
	保健衛生費	328,721	303,546	25,175
	医療費	11,730	7,780	3,950
	保育材料費	587,342	585,145	2,197
	水道光熱費	1,646,882	1,697,586	△ 50,704
	燃料費	67,313	97,259	△ 29,946
	消耗器具備品費	652,507	985,854	△ 333,347
	保険料	332,840	327,410	5,430
	賃借料	1,062,279	986,625	75,654
	車輌費	155,951	271,189	△ 115,238
	雑費	20,000	10,000	10,000
	事務費	8,127,743	3,619,984	4,507,759
	福利厚生費	477,224	540,413	△ 63,189
	旅費交通費	29,780	29,200	580
	研修研究費	260,100	407,890	△ 147,790
	事務消耗品費	38,417	56,181	△ 17,764
	印刷製本費	39,420	36,180	3,240
	修繕費	5,010,850	455,044	4,555,806
	通信運搬費	178,575	228,256	△ 49,681
	会議費	33,520	63,306	△ 29,786
	業務委託費	511,265	450,095	61,170
	手数料	33,175	38,164	△ 4,989
	保険料	642,367	414,645	227,722
	賃借料	235,200	271,440	△ 36,240
	土地・建物賃借料	16,990	16,990	
	租税公課	61,400	58,600	2,800
	保守料	384,360	357,480	26,880
	涉外費	15,000	10,000	5,000
	諸会費	160,100	175,600	△ 15,500
	雑費		10,500	△ 10,500
	減価償却費	5,724,002	5,444,273	279,729
	減価償却費	5,724,002	5,444,273	279,729
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 3,401,745	△ 3,401,757	12
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 3,401,745	△ 3,401,757	12
サービス活動費用計(2)		98,632,508	98,308,634	323,874
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		△ 6,690,436	△ 5,485,110	△ 1,205,326

## 月影保育園拠点区分 事業活動計算書

(自) 平成31年4月1日 (至) 令和2年3月31日

第二号第四様式

(第二十三条第四項関係)

法人名：社会福祉法人 月影福祉会

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動外増減の部	受取利息配当金収益	3,834	3,873	△ 39
	受取利息配当金収益	3,834	3,873	△ 39
	その他のサービス活動外収益	655,200	729,600	△ 74,400
	受入研修費収益		24,000	△ 24,000
	利用者等外給食収益	655,200	705,600	△ 50,400
	その他のサービス活動外収益	49,861		49,861
	雑収益	49,861		49,861
	サービス活動外収益計(4)	708,895	733,473	△ 24,578
	その他のサービス活動外費用	655,200	760,800	△ 105,600
	利用者等外給食費	655,200	705,600	△ 50,400
特別増減の部	雑損失		55,200	△ 55,200
	サービス活動外費用計(5)	655,200	760,800	△ 105,600
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	53,695	△ 27,327	81,022
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	△ 6,636,741	△ 5,512,437	△ 1,124,304
	施設整備等補助金収益	2,138,000		2,138,000
繰越活動増減差額の部	施設整備等補助金収益	2,138,000		2,138,000
	その他の特別収益		55,200	△ 55,200
	退職給付引当金戻入益		55,200	△ 55,200
	特別収益計(8)	2,138,000	55,200	2,082,800
費用	固定資産売却損・処分損	881,260	1	881,259
	器具及び備品売却損・処分損	1	1	
	その他の固定資産売却損・処分損	881,259		881,259
	特別費用計(9)	881,260	1	881,259
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	1,256,740	55,199	1,201,541
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		△ 5,380,001	△ 5,457,238	77,237
前期繰越活動増減差額(12)		13,543,125	19,000,363	△ 5,457,238
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		8,163,124	13,543,125	△ 5,380,001
基本金取崩額(14)		0	0	0
その他の積立金取崩額(15)		0	0	0
その他の積立金積立額(16)		0	0	0
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		8,163,124	13,543,125	△ 5,380,001

※本様式は、勘定科目の小区分までを記載し、必要のない勘定科目は省略することができるものとする。

※勘定科目の中区分についてはやむを得ない場合、小区分については適当な科目を追加できるものとする。なお、小区分を更に区分する必要がある場合には、小区分の下に適当な科目を設けて処理することができるものとする。